



つるく

3 狭いながらも楽しく充実して過ごせる
自分好み凝縮した空間が一畳から！

たたみ一畳というスペースも、見る人が見て、考える人が考えて工夫する人が工夫すれば、これだけ可能性が広がるという好例が、この「一畳ユニット」だ。再生強化紙を複合成形した特殊複層コルゲートボード、3×6DANを組み合わせ構成されるスペースは、家の中にタイニーハウスを作る感覚。部屋を効率的に仕切ったり、連結させたりといった使い方はもちろんのこと、部屋の中に、さらに自分専用の隠れ家的スペースが作れるのも大きな魅力。これなら家族間のコミュニケーションをスポイルすることもなく、趣味や仕事に没頭することができそう。部屋が狭い、部屋数が足りない。そんな悩みもアイデア次第。豊かな空間は、一畳から始まる。



ボックスステールとボックスベンチで構成された「SASHI UNIT」。3つを連結することで完全個室にもできる。内密な打ち合わせ、将棋や囲碁の対局などに。

ユナイトボード

一畳ユニット

OTONA基地価格12万9600円、

SASHI価格10万8000円

ユナイトボード ☎03-5771-3951

世界で初めてダンボール式建材を実用化してから50年。そのノウハウと技術力が詰まった「一畳」。



たとえば「OTONA基地」には本棚やクローゼット、「KODOMO基地」にはランドセルやおもちゃ用のラックなど、用途の合わせて有効にスペースが使える。

へエ〜ツと思わずうなる！ 最新面白タイ 緊急レポート！

4 秋田発、茅葺屋根のある風景を残したい
思いを込めた、熟練の職人技の結晶

茅葺屋根の家、それは日本の原風景。抜けるような夏の青空、しんと降り積もる雪の季節、そんなシーンに茅葺屋根が浮かんでくるのは、もう古き良き時代への郷愁の中だけなのだろうか……とそんな失われつつある日本の風情を今に伝え、身近に感じさせてくれる、そんな小屋が佐藤茅葺店に製作される。運べる茅葺小屋だ。現在の日本では消防法で新築建物に茅葺屋根は認められないだけに、技術自体が貴重なもの。タイプは大と小のふたつ。キュートなスタイルながら、茅葺職人の屋根と宮大工の土台、技が凝縮した本格派の中の本格派だ。屋根素材は稲わ

青空に茅葺屋根がある風景。懐かしさと癒しと。本当の豊かさ、こんな景色の中にあるのかもしれない。茅葺、失ってはいけない日本の技術だ。



ら、スキ、ヨシが選べるので、並べて、その質感の違いを楽しむなんて贅沢もオツなもの。



パーツは取り外し可能な屋根と組み立て式土台。大タイプでも軽トラ一台で運べる。職人手作り、納期は約1カ月ほどのこと。



つるく

YADOKARIX京急電鉄

高架下タイニーハウスホテル

1泊1人価格4200円〜、1泊1屋(4名利用可)

価格1万5000円〜

例タイニーハウスホテル <http://tinys.life/yokohama/>
周辺にはカフェラウンジや水上アクティビティの拠点としての機能を整備。交流の拠点としても注目が集まっている。

車輪付きの「Wonder」、癒しの「Silence」、発見の「Discovery」。個性的な3棟がラインナップ。自分のスタイルに合ったキャビン体験ができる。



ニーハウス

昔から人は狭いスペースに、どこか心惹かれるものを感じるのだろう。隠れ家とか秘密基地とか(もしかしたら女子には理解できないかもだが)。タイニーハウスは、そんな忘れてしまった時代を思い出させてくれる、魅力的な空間を提供してくれる。そこにあるのは男の浪漫かもしれない。
文 岡部直人、モノ・マガジン編集部



タイニーハウス「Discovery」。アクティブに過ごした後は、ほっとひと息。扉を開けるとコンパクトに纏まった居心地良い空間が迎えてくれる。



つるく

INN THE PARK

球体型ホテル

ドーム価格1万7280円、

吊り価格2万1600円

問INN THE PARK ☎055-939-8366

60m2の広大な自然に包まれて、非日常感を堪能。様々なアクティビティで豊かな時間を過ごす。

気分はまるで林間学校。そして、そんな高揚感を一層、アップしてくれるのが球体テントだ。これが普通のテントなら、なかなかそこまではならないかもしれない。森の中に浮かぶように並ぶ白い球体。夜ともなれば、各テントが明かりに照らし出され闇の中に浮かび上がる幻想的な光景が。



感じられる、雨模様でも大丈夫。そんな自然と一体化したような感覚が嬉しい。大自然の中のタイニーハウスライフはテントが似合う。



ユニークな球体型テントが大自然の中に 浮かぶ、キャンプブライクに楽しむフィールド

通しロゴ